

ISO/IEC JTC 1/SC 17 リエゾン報告

2019-12-20

SC 17 国内委員長 廣川 勝久

SC 17 リエゾン報告

(ISO/IEC JTC 1/SC 17ブレインード総会関連トピックス)

- 2019年10月 SC 17総会及び傘下各WGの国際会議をブレインード(米国)で開催
- 日本提案に基づき設置されたSC 17/SG 2の活動継続
 - 近年、SC 17の国際規格が物理的なカード形状を前提にしない利用場面にも適用される状況が続いている。
 - 上記を踏まえた日本提案に基づき昨年のSC 17岡山総会決議により設置された SG 2: Study Group on Virtual ID and Related Technologies (谷内田 益義議長)の活動状況として、参加国間で概念レベルの理解が進展していることが報告された。2020年の次回SC 17総会までのSG 2の活動継続とNWI 提案に繋がるベースドキュメントの開発を合意し、議長の再任を承認するとともにエキスパートの追加募集も行うことを決議した。
- カードの厚さに関する海外からの新提案
 - 生体認証用センサー等を搭載したカードの厚さについて新規提案が出されているが、既存のID-1カード対応のリーダー/ライターでカードジャムを生じる恐れがあるため、ID-1及びID-Tカードとは別の条件としてステークホルダの意向も確認しつつ検討を継続することとしている。
 - ✓ ID-1カード: 厚さ 0.76 mm (キャッシュカード、クレジットカード等に適用)
 - ✓ ID-Tカード: 厚さ 2.5 mm (生体認証用センサー等搭載カードで0.76 mmに入らない場合)
- 2019年12月 Directivesの改訂に従い一部のグループの名称を変更 (後述)

ISO/IEC JTC 1/SC 17

(カード及び個人識別用セキュリティデバイス)

- タイトル :
Cards and Security Devices for Personal Identification
- スコープ:
Standardization in the area of:
 - Identification and related documents,
 - Cards,
 - Security devices and tokens,and interfaces associated with their use in inter-industry applications and international interchange
- 規格数: 発行済: 109／開発中: 39 (2019年12月現在)
- 参加国数: Pメンバ: 32カ国／Oメンバ: 23カ国
- (参考) 委員会名及びタイトル
 - 1969年 ISO/TC 95/SC 17 設立、タイトルは Identification and Credit Cards
 - 1979年 ISO/TC 97/SC 17 に再編
 - 1988年 ISO/IEC JTC 1/SC 17 に改組、タイトルを Identification Cards and Related Devices に変更
 - 1999年 タイトルを Cards and Personal Identification に変更
 - 2017年 タイトルを現タイトルに変更

国際SC17と国内SC17との関係

2019年12月現在

